

契 約 変 更 理 由 書

神 戸 市

工 事 名	垂水（清水が丘）配水管新設取替工事その１
<p>契約変更後の概要</p> <p>工事概要： 鋳鉄管布設延長 PEφ50 L=347.0m、PEφ50 L=4.8m、φ75 L=18.9m（給）L=16.4m、φ100 L=128.7m、（給）L=4.1m、φ150 L=55.4m、φ200 L=705.2m 鋳鉄管撤去延長 φ75 L=11.1m（給）L=16.4m、φ100 L=128.1m、（給）L=4.1m、φ150 L=540.4m、φ200 L=528.1m、φ250 L=185.8m</p>	
<p>設計変更の理由</p> <p>① 清水が丘２丁目６の民間開発予定地の配水管φ50の布設について 開発事業内の配水管布設時期が令和５年３月中旬に計画されており、その時期は現在施工中の垂水（清水が丘）配水管取替工事その１【以下、本工事という。】と施工時期が重複することや開発事業地に向けて配管工事を施工したことや開発事業により本工事の配水属具に調整が生じること。また、開発事業と密に工事調整を行っている本工事で施工することが望ましいため。開発団地内の配水管布設が生じた。（増）</p> <p>② 管延長・配水管属具の変更 民間開発予定地の配水管布設や現地の状況を考慮して配水管を布設した結果、管延長及び配水管属具に増減が生じる。（減）</p> <p>③ 交通誘導警備員について 当初、４人／日を配置する計画であったが、所轄警察との協議の結果、日配置人数を変更する必要がある。また、本工事のバス路線の内約５５０ｍ区間については、交通量が多く道路幅員も狭いため、当初より夜間施工としている。また、本工事における試掘により地下埋設物（雨水幹線・污水管・ガス管・電気等）が輻輳していることを確認していた。夜間施工に着手したところ、戸建家屋等への引込管（ガス・水道・污水）が各地下埋設物を縫うように埋設されており、既設管の撤去（切断箇所を増）に時間を要した。また、曲管や切管を使用した布設が増え、かつバスの始発運行に影響を生じさせないための時間制約があり、施工に大幅な遅れが生じた。その工程の遅れにより、交通誘導警備員が変更となる。（増）</p>	